名古屋大学大学院生命農学研究科

応用生命科学専攻（応用微生物学研究室）准教授公募要領

1	募集件名	准教授の公募
2	募集者の名称	国立大学法人東海国立大学機構
3	所属	名古屋大学大学院生命農学研究科応用生命科学専攻応用微生物学研究室
4	募集内容	[職務内容（業務内容、担当科目等)] 名古屋大学大学院生命農学研究科では、生命科学の基盤の拡充、生物機能・生物資源の高度利用、生命共生環境の創出・保全、および持続的生物生産と先端生命科学の技術開発を通して環境に調和した人類の発展を目指す総合的な学問分野として「生命農学」を位置づけ、創造的な研究活動によって真理を探究し、生命農学に関して世界屈指の知的資産形成・蓄積と継承に貢献することを使命としています。 応用生命科学専攻では、農学分野における多様な生命現象の機構を最先端の生命科学と分子科学の理論と技術により解明し、その応用展開の基盤を作るための教育研究を進めることにより、食・環境・健康の増進・向上に貢献することを目指しています。その中で応用微生物学研究室は、大学院生命農学研究科および農学部において微生物学分野の教育を担当するとともに、微生物が有する多様な代謝機能を理解し、その制御・改変を通じて、食と健康に貢献する有用物質生産などの応用展開を目指した基盤的研究を行っています。 本准教授公募では応用微生物学・発酵化学など、有用微生物の利用を目指した研究分野において国際的にも優れた研究業績を有し、研究室の教員と協調しながら微生物を対象とした先端研究を推進することで当該研究分野のさらなる発展に貢献する人物を求めます。また、大学院・学部における教育と研究指導に強い熱意をもち、管理運営に責任感と協調性をもってあたる人物が望まれます。 【担当する業務】 （雇入れ直後） ・大学院生命農学研究科および農学部の運営に関連する業務 ・大学院生命農学研究科および農学部における教育と研究指導 ＜担当授業科目＞ （1）大学院 ・博士前期課程：生命農学演習、応用微生物学特論、修士論文研究等 博士後期課程：博士論文研究 （2）学部 ・全学教育科目、専門基礎科目（微生物学１)、専門科目（微生物学２、英語による Microbiology 等の講義)、応用生命科学実験実習、専門セミナー、卒業論文研究等 （変更の範囲） ・東海国立大学機構が指定する業務
		[勤務地] （雇入れ直後）愛知県名古屋市千種区不老町 （変更の範囲）東海国立大学機構が指定する就業場所
		[募集人員]　准教授・1 名
		[着任時期]　2027 年 4 月 1 日またはそれ以降

5	募集研究分野	大分類	農学（農芸化学）
		小分類	応用微生物学およびその関連分野
6	勤務形態	常勤 契約期間：期間の定めなし 試用期間：あり（採用日から６か月）	
7	応募資格	[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細] ・博士学位を有している者 ・応用微生物学および関連する研究を専門分野とし、優れた研究業績を有する者 ・大学院及び学部における教育に熱意と責任感を持ち、協調性をもってあたれる人物	
8	待遇	[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、保険等）] ・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110010928.html ・給与は東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程において定める年俸制とする。 https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110001585.html ・専門業務型裁量労働制により、1 日 7 時間 45 分働いたものとみなされる。 ・休日：土・日曜日、国民の祝日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日） ・加入保険：文部科学省共済組合、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険 ・受動喫煙防止措置：原則としてキャンパス内は喫煙禁止	
9	応募期間	2026 年 10 月 30 日～　　2026 年 12 月 31 日（日本時間）	
10	応募・選考結果通知連絡先	[応募方法（提出書類の送付先）] 次の書類を応募期間内（必着）に以下へメールで送信してください。 (1)　応募する旨を明記した書類（応募者の連絡先、電話番号、電子メールアドレス等を含む） (2)　履歴書 (3)　研究業績リスト（原著論文、総説、著書、特許、その他に分類し、番号を付けてください。原著論文の責任著者に*印を付けてください。） (4)　現在までの研究の概要（2,000 字程度、研究業績リスト番号を引用のこと） (5)　今後の研究に関する計画と抱負（2,000 字程度） (6)　大学院・学部における教育に対する考え方と抱負（1,000 字程度） (7)　過去の研究費獲得状況（科学研究費補助金等の競争的資金について、代表と分担に分けて、名称と金額を明記のこと。年号は西暦で表記すること） (8)　大学における管理運営、社会連携、国際協働についての考え（1,000 字程度） (9)　その他（教育実績、受賞、学協会関連活動、社会貢献など選考の参考になる事項） (10)　応募者について照会できる方 2 名の氏名、連絡先、電話番号、電子メールアドレス (11)　類型該当性の自己申告書（下記「11.その他」を参照 ）	

		（12） 論文等の PDF ファイル（主要なもの 10 編程度） ［書類送付先］ ・上記の提出書類（１）～（11）を１つの PDF ファイルにまとめ、主要論文の PDF ファイル（12）とともにフォルダに入れ、圧縮（ZIP 形式）したものを、以下のアドレスに添付で送信してください。 ・メールのタイトルは「応用微生物学研究室准教授応募（氏名）」としてください。 ・ファイルサイズは全体で 60MB を超えないようにしてください。やむを得ず超えてしまう場合は、複数のメールに分割し、その旨を明記してください。 ・書類送付の 3 日後までに応募書類を受領した旨の連絡（電子メール）がない場合には、委員長までお問い合わせください。 書類の送付アドレス（電子メール）： kobo_am[at]agr.nagoya-u.ac.jp ※ [at]を@に置き換えてください。 ［問い合わせ先］ 名古屋大学大学院生命農学研究科応用生命科学専攻 応用微生物学研究室 准教授選考委員会委員長 木村 眞 電子メール：mkimura[at]agr.nagoya-u.ac.jp ※ [at]を@に置き換えてください。
		[選考内容（選考方法、採否の決定）] ・選考委員会で審議選考し、研究科教授会の議を経て、候補者が決定されます。 ・書類選考の上、面接を実施することがあります。なお、対面にて面接を実施する場合の交通費は自己負担とします。 ・採否の結果については、原則、電子メールで連絡します。
11	そ の 他	・名古屋大学は業績（研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。）の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 ・提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。 ・応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分し、返却しません。 ・2021 年 11 月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。（https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/general/fefta.html から様式をダウンロードして作成すること） ・本学では、多様性の推進やワークライフバランスの促進に、積極的に取り組んでいます。詳細については以下の URL をご覧ください。 ｼﾞｪﾝﾀﾞｰﾀﾞｲﾊﾞｰｼﾃｨｾﾝﾀｰ Web ｻｲﾄ：https://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ ﾀﾞｲﾊﾞｰｼﾃｨ、ｴｸｲﾃｨ、ｲﾝｸﾙｰｼﾞｮﾝ&ﾋﾞﾛﾝｷﾞﾝｸﾞ（Diversity, Equity, Inclusion & Belonging: DEIB）推進宣言：https://www.thers.ac.jp/about/declaration/deib/index.html

		・本学では、県外から本学への応募又は着任を検討している研究者・教員を対象に、地域情報並びに配偶者・パートナー等の就業及びキャリア形成に関する情報提供や相談対応等を行う「パートナー帯同プログラム」を実施しています。 詳細は下記をご覧ください。 https://valueglow.jp/relocation/participant/portal.html?univ=nagoya_u ・出産・育児・介護・病気等の理由により、過去に研究活動を中断・遅延した期間があれば、その点を履歴書に記載することができます。本学ではそれを記載したことにより、不当な評価を受けることはありません。